

令和2年度滋賀県レイカディア大学同窓会定期総会（文書議決）

ダイジェスト版兼議事録

作成：近江八幡支部

本年は「新型コロナウイルス感染」拡大の影響で定期総会の開催は中止し、限定役員による文書での議案審議並びに議決に変更され、全ての議案は提案通り可決・承認されました。

I 経緯

- ・ 4月1日（水）第1回理事会に於いて限定役員による議案審議に変更（会員へ通知）
- ・ 4月9日（木）定期総会開催中止と限定役員による文書議決への変更（会員へ通知）
- ・ 4月9日（木）役員への議案書送付と文書での審議と議決要請

II 議決日、役員、議案

- ・ 議決日 令和2年4月22日（水）
- ・ 議決役員 正副会長、事務局長、会計、新旧常任理事、新旧HP管理班長、監事
- ・ 議決内容 第1号議案 平成31年度（令和元年）事業報告
第2号議案 平成31年度（令和元年）決算報告
第3号議案 役員改選（案）
第4号議案 令和2年度事業計画（案）
第5号議案 令和2年度予算計画（案）
（尚、慶祝者には各支部役員がお祝いの品を持参。）

III 議案書

第1号議案 平成31年度（令和元年）事業報告

1. 活動の総括

元号が改まることを念頭に置き「地域社会から期待される存在となることを目指して」私たち同窓会会員にとって最も大切なことは、

1. 地域活動の担い手としての自覚を未永く持ち続けること。
2. 同窓会憲章を守り抜く伝統を息づかせること。
3. 社会的評価や認知度を高める活動に、先輩後輩相携えて取り組むこと

であると宣言して、格別の思いでそれぞれの志気を鼓舞しながら、力強く且つ粛々と事業に取り組んだ結果を、以下のとおり総括いたします。

- ① 魅力有る同窓会となるため、総務研修部会・広報情報部会・地域活動部会が有機的に結合し、機能を十分に発揮していくために担当役員制を敷き、情報の共有によって事業計画を、遅滞なく実施することが出来た。
- ② 本部に対する会員のニーズの変化に対応していくために、充実した支部活動に重点を置き、本部としてもレイカディア懇話会・学長懇談会・系統外郭団体と合同開催するなどして、リカレント制度への積極的入学を充実させるなど、成果を上げることが出来た。

特に、三日月知事を講師に記念講演会を実施するなどしたことは、会員相互の意識改革にも大きく影響したものと思います。

- ③ 同窓会の資金力強化のために、行政や優良企業とのタイアップによる助成金や補助金の収受・機関誌「會報」への広告掲載による広告料の獲得を考えたが、一部の支部に実績が見られたものの、本部としては実らなかった。
- ④ 「會報」を親しみやすく読みやすい機関誌となることを目指して、発行形態や仕様を検討しコスト削減する事については、質の低下を招くことのないように配慮しながら、コスト削減の観点からページ数を減らしながらも、会員情報を重点的に掲載することとし、併せて「會報」の愛称を「つながり」と命名し、夏号・冬号の年2回の発行で、親近感を繋ぐこととした。
- ⑤ 学生募集活動等母校の発展に寄与する活動を強化するために、募集活動には各支部共に重要な事業計画に位置づけて、会員の口コミはもとより、各地区の量販店店頭などに立ち全県的な運動を展開したが、一部の学科で期待値を満たすことが出来ず残念に思う。
- ⑥ 役員改選年度に当り、比較的早い時期から会員の意識付けを行ってきたことが奏功し、会員の前向きな姿勢を引き出すことと成り、速やかな新体制を内定することが出来、新年度への意欲を感じる事が出来た。
- ⑦ 滋賀県レイカディア大学同窓会は「地域の担い手」として期待されていることを念頭に置き、「入会者の減少」「会員の漸減」「支部力の格差」「学生募集活動」をキーワードとして取り組んできた結果、「地域の担い手としての自覚の高まり」「地域社会貢献活動の逐年増加」が見られた。一方「入会率の低下」「会員数の減少」課題は、「会員のニーズの多様化」「高齢化の進行」等々、社会構造的な障壁があると思われる。また「支部力の格差」については、いわゆる都市部と地方との生活環境の違いが色濃く反映されて、一朝一夕の解消は困難と思われる。

2. 各部会の活動報告

(1) 総務研修部会

1. 平成31年度本部定期総会 (担当支部 守山野洲支部)
 - ①開催日時：平成31年4月24日(水) 14時30分～16時00分 於レイ大草津校大教室
 - ②長寿者慶祝：白寿該当者2名、米寿該当者32名 (内16名の出席者に祝詞と祝い品贈呈)
 - ③議事の提案：賛成多数で承認を得た。*出席者数：148名
 - ④記念講演 滋賀県知事 三ヶ月大造様の公務により延期
2. 平和堂店舗で42期学生募集応募要項の配布
 - ①配布期間：平成31年4月27日～令和1年7月23日
 - ②配布店舗数と配布回数：19店舗で21回実施
 - ③配布人数(延べ人数)：同窓会員 162名 レイ大事務局 19名
 - ④配布部数：5500部(平和堂店舗以外での配布を含めると総計15,000部配布)
3. 滋賀県知事 三日月大造様による記念講演会の開催
 - ①開催日時：令和1年7月8日(月) 14時00分～15時00分 於レイ大草津校大教室
 - ②演 題：「人生100年時代を生きる」～長寿の力を地域の力に～
 - ③参加者：255名(同窓会員・在校生・その他)
4. 無料「必修講座」の聴講(臨時休校の為、中止)
 - ①草津校・開催日：令和2年3月6日(金) 10時～12時 聴講生：47名(申込人数)
 - ②米原校：開催日：令和2年3月12日(木) 13時～15時 聴講生：56名(申込人数)

(2) 広報情報部会

1. 「會報」36号の発行

- ①「つながり夏号」(7月発行)「つながり冬号」(12月)の年2回発行を実施。

2. 同窓会広報ツールの作成

- ①同窓会入会案内パンフレットの作成
②同窓会活動紹介の展示用パネルを作成

3. 同窓会ホームページ(HP)トップページの入替え

4. 同窓会事業の取材活動とHPへの掲載

- ①同窓会定期総会、三日月滋賀県知事記念講演会及び地域活動事例発表会の取材活動
②取材記事をHPへ掲載

(3) 地域活動部会

1. 地域活動の継続と拡大化

①草津校/米原校レイカディアの日に参加

- ・草津校：令和1年5月30日(木)地球市民の森 同窓会から28名が参加
- ・米原校：令和1年6月15日(土)愛知川沿い 同窓会から53名が参加

②コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーン in 草津に参加

- ・今年度で3回目の参加で恒例行事となった、開催日：令和1年6月16日(日)
- ・昨年度と同じ草津市の矢橋帰帆島周辺で実施され、同窓会から45名が参加

③「美しい湖国をつくる会」の活動

- ・湖岸清掃、環境美化活動に各支部の実情に合わせてそれぞれが実施した

2. 「第12回 地域活動事例発表会」の開催

①開催日：令和1年11月18日(月)

②開催場所：近江八幡市総合福祉センター ひまわり館(1階ホール)

- ・各支部の積極的な選りすぐりの活動事例を発表されたことで同窓会全体に大きな広がりを見せることを願っています。

第2号議案 平成31年度(令和元年)収支決算報告及び監査報告

(自・平成31年4月1日 至・令和2年3月31日)

1. 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	敵要
前期繰越金	83,764	83,764	0	
会費	650,000	635,500	-14,500	予算1,300人分、決算1,271人分
入会金	60,000	62,000	2,000	予算120人分、決算124人分
特別会費		0	0	
雑収入	4	31,003	30,999	美国会よりの補助金、利息
合計	793,768	812,267	18,499	

2. 支出の部

科目	予算額	決算額	増減	摘要	
会議費	総会費	95,000	83,725	-11,275	会場費、参加者お茶代等
	会議費	20,000	14,185	-5,815	理事会会議室費
	小計	115,000	97,910	-17,090	
旅費	40,000	37,200	-2,800	理事会旅費等	

事務費	事務消耗費	20,000	10,964	-9,036	資料コピー代等
	通信費	10,000	0	-10,000	
	小計	30,000	10,964	-19,036	
慶祝費		105,000	102,000	-3,000	総会慶祝者34名分
事業費	総務研修部費	85,000	11,359	-73,641	部会旅費会議室使用等
	広報情報部費	150,000	141,998	-8,002	會報(夏・冬)印刷代、HP管理費等
	地域活動部費	123,000	135,883	12,883	事例発表者謝礼、支部補助金等
	小計	358,000	289,240	-68,760	
予備費		145,768	0	-145,768	
合計		793,768	537,314	-256,454	

決算報告：藪会計担当

収入合計 812,267 円－支出合計 537,314 円＝次年度繰越金 274,953 円

各科目にわたりコスト削減を図ることが出来た。特に會報の発行形態の見直しにより昨年に比べて大幅なコスト低減が可能になった。その結果、次年度繰越金は昨年度と比べると大幅に伸びている。

監査報告：辻監事・森井監事

会則第8条3項(8)に則り、収支決算報告書・証拠書類・諸帳票等の監査を実施した結果いずれも適正に処理されていることを認めます。

第3議案 役員改選(案)

会長	<small>ほりえ いさお</small> 堀江 勇夫	(留任)	第30期卒	地域文化学科
副会長	<small>おくなが ひろゆき</small> 奥長 裕幸	(新任)	第37期卒	北近江文化学科
副会長	<small>ふじた じゅんいち</small> 藤田 順一	(新任)	第37期卒	園芸学科
事務局長	<small>いまおか たもち</small> 今岡 多望	(新任)	第37期卒	北近江文化学科
会計	<small>やぶ けんじ</small> 藪 健治	(留任)	第35期卒	園芸学科
監事	<small>もりい こうぞう</small> 森井 幸三	(留任)	第31期卒	地域文化学科
監事	<small>こだま まさたか</small> 児玉 正孝	(新任)	第32期卒	地域文化学科

第4号議案 令和2年度事業計画(案)

1. 活動の基本方針

“令和2～3年度への展望をしっかりと持とう！！”

母校滋賀県レイカディア大学にも、時代の変遷と共に様々な課題が生じて深刻化しています。「建学の趣旨」を校是に掲げ「レイカディア讃歌」に、親しみやすく平易な詩作として、広く県民に普及されるべく、願い続けられて来ましたが、思うに任せぬ側面が浮き彫りになって来ています。

われわれ同窓会においてもこれと同類項であり、双方共に時代の変化への対応が不十分であったことが、大きく影響していると思われます。

森羅万象、無常の理の中に在って「**継続することは、変化し続けることである**」との、先人の教えに思いを致しきれなかったことに起因するものと思われます。

さて、2021年に滋賀県社会福祉協議会が、創立70周年を迎えられるに当たって、レイカディア大学のあり方を抜本的に見直す取り組みが、始まろうとするに当たって「レイカディア大学のあり方検討会」が設置され、その委員の一人に滋賀県レイカディア大学同窓会会長が、委嘱されることとなりました。

2020年前半に議論を重ね提言を取り纏め、2021年に向けて具体的な実施計画が策定されるものと推測されます。同窓会は母校あつてのものですから、今後ともこれらの動きに深い関心を寄せていきたいと思えます。

ところで、同窓会は本部・支部ともに、役員が一新され新体制が発足いたします。役員と会員が心を一にして心機一転、県の「レイカディア滋賀高齢者福祉プラン」の基本理念でもある「県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀の実現」に応えられるように、次の事柄に傾注して参ります。

一. 命題として

- ① 2018～2019年度の運営課題を謙虚に洗い出し、2020～2021年度の運営に十分に反映させ、会員相互の理解を得ること
- ② 組織目標である「健康と親睦の増進」と「地域社会貢献活動」のバランス感覚を見直し、親しみ易く魅力に富んだ同窓会を目指して役員、会員相携えて次年度構想をまとめ、意思統一を図ること

二. 具体事案として・・・

- ① 母校“滋賀県レイカディア大学のあり方”に関心を寄せ、会員のニーズを汲み上げる
- ② HPのサイトマップと管理規約を見直し、HPの運営に十全を期す
- ③ 男女が協働する組織の定着を期するため、役員人選への配慮を願い具現化に努力する
- ④ 滋賀県レイカディア大学同窓会の「地域活動の担い手」としての自負と社会的認知度の隔たりを行政との連携を強め、同窓会として何が出来るか主体的に考え実践する

2. 各部会の活動計画

(1) 総務研修部会

1. 令和2年度本部定期総会の開催（担当支部 近江八幡支部）

①開催日時

総会は急遽中止し、文書での議決に変更

②開催場所

本校 大教室

2. (無料)「必修講座」の聴講

・学校別必修講座の聴講

草津校、米原校各々で開催 開催月日、講座内容は別途学校側と調整（1回/年）

3. 学長との懇談会の開催

・開催に向けて学校側（大学事務局）と協議

4. 43期学生募集活動応募要項の配布

・母校の発展に寄与

(2) 広報情報部会

1. 會報「つながり」の年2回発行の継続
2. 同窓会活動紹介パネルの見直し作成
3. 同窓会HPサーバー会社との契約更改の実施
4. 各支部のHP担当者のスキルアップを図る
5. HP管理規約の見直し

(3) 地域活動部会

1. 地域活動の継続と拡大化

- ①草津・米原校のレイカディアの日にそれぞれの母校支部より参加
- ②コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーン活動へ参加
 - ・実施場所、日程が未定ではあるが参加して湖岸の環境美化に貢献する
- ③「美しい湖国をつくる会」活動に参加
 - ・湖岸清掃、河畔清掃など

2. 「第13回 地域活動事例発表会」の開催

- ・開催日、場所は未定
- ・各支部より1テーマ

3. 「地域活動体験学習」への参画

- ・草津校、米原校

第5号議案 令和2年度収支予算書（案）

（自・令和2年4月1日 至・令和3年3月31日）

1. 収入の部

（単位：円）

科目	前年度決算額	当年度予算額	増減	摘要
前年度繰越	83,764	274,953	191,189	
会費	635,500	625,000	-10,500	会員1,250人分
入会金	62,000	55,000	-7,000	新入会員110人分
特別会費	0	0		
雑収入	31,003	3	-31,000	利息
合計	812,267	954,956	142,689	

2. 支出の部

科目	前年度決算額	当年度予算額	増減	摘要	
会議費	総会費	83,725	95,000	11,275	資料印刷・会場費等
	会議費	14,185	20,000	5,815	理事会・常任理事会会場費
	小計	97,910	115,000	17,090	
旅費	37,200	100,000	62,800	理事会・常任理事会等旅費	
事務費	事務消耗費	10,964	15,000	4,036	資料コピー・インク等
	通信費	0	10,000	10,000	ハガキ・切手代
	小計	10,964	25,000	14,036	
慶祝費	102,000	78,000	-24,000	対象者26名	
事業費	総務研修部費	11,359	50,000	38,641	部会会議室費・旅費等
	広報情報部費	141,998	198,000	56,002	会報発行及びHP管理等
	地域活動部費	135,883	135,000	-883	事例発表会・地域活動補助金等
	小計	289,240	383,000	93,760	
予備費	0	253,956	253,956		
合計	537,314	954,956	417,642		